

令和元年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立古江小学校)

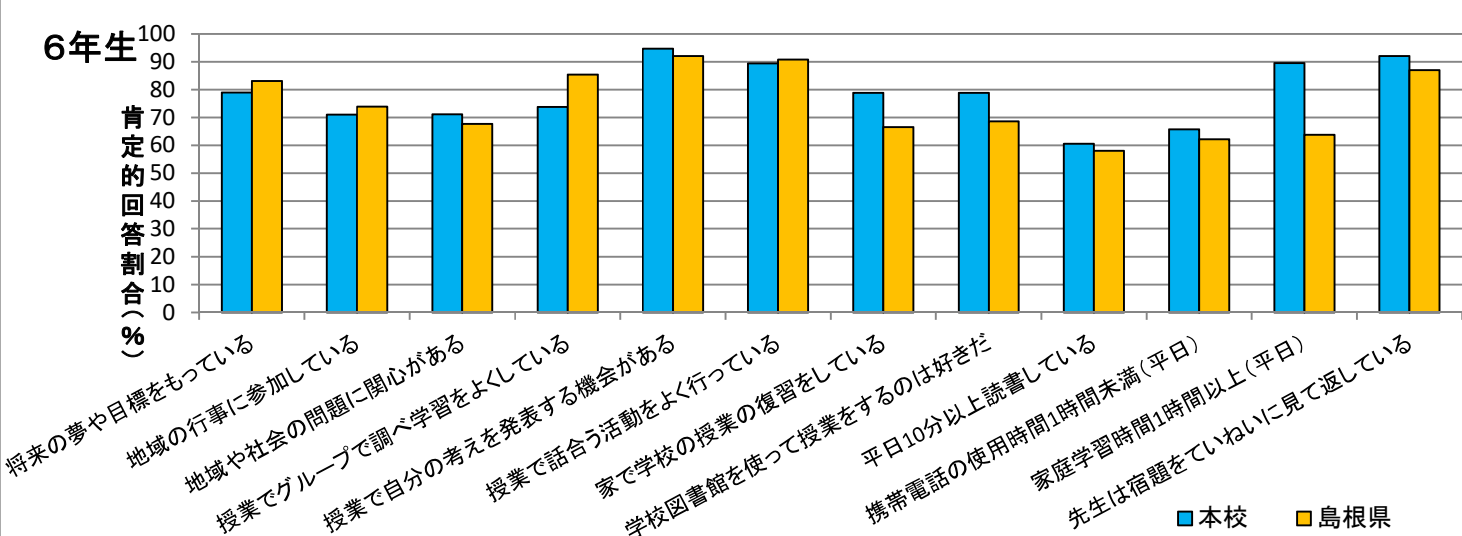
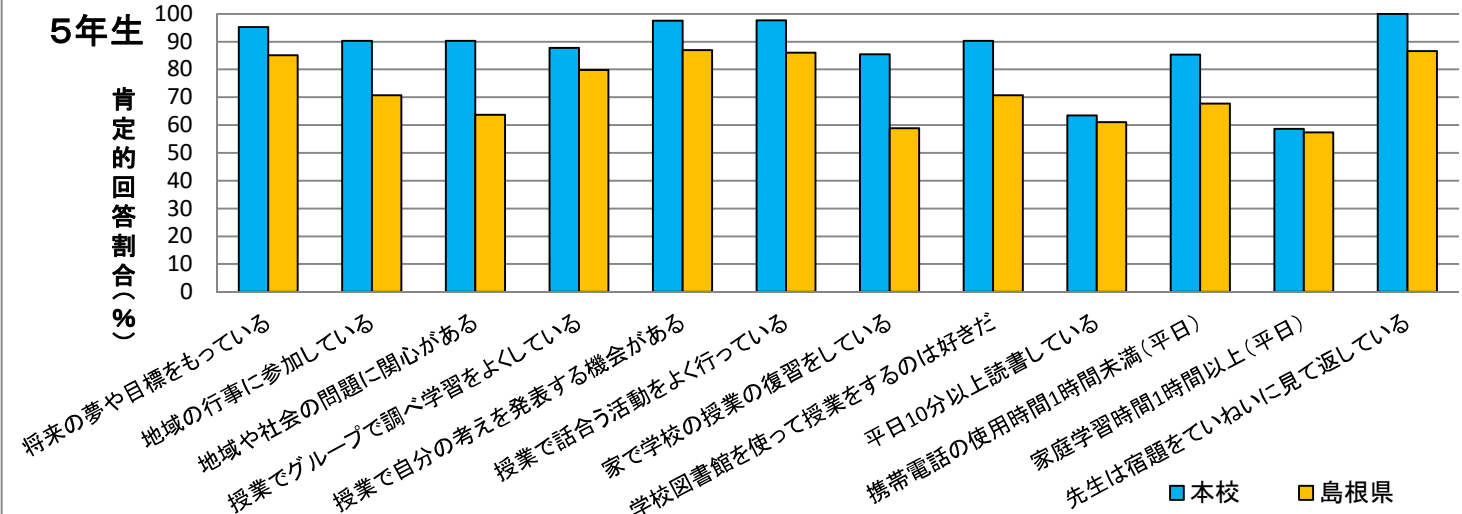
(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	国語	○ローマ字のつづりを理解することや、描写をもとに登場人物の心情をとらえる力はよく身につけている。 ●同音異義の熟語の書き取りが県平均より低かった。	・同音異義の熟語について理解を深めるため、書き取りを行ったり、その意味を辞書で調べたりするなどの活動を日々の学習に取り入れる。
	算数	○立方体の面と面の垂直の関係や、台形の特徴など図形領域の正答率が高かった。 ●小数×小数の計算や小数の大きさの理解がやや身につけていない。	・小数の学習についてフォローアッププリント等で復習する。
6年	国語	○ローマ字のつづりや修飾語の理解については県平均より正答率が高い。 ●同音異義の漢字の書き取りや段落相互の関係から文の構造を理解する力がやや弱い。	・同音異義の漢字について理解を深めるため、書き取りを行ったり、その意味を辞書で調べるなどの活動を日々の学習に取り入れる。 ・説明文を読み取り、意味段落ごとに要旨をまとめるなどの学習を繰り返し行う。
	算数	○基礎的な四則計算や円グラフの読み取り、基準量と割合から比較量を求める計算の正答率が高かった。 ●多角形の内角の和の求め方を説明する問題で正答率が低かった。	・多角形の内角の和の求め方について復習する。 ・説明の仕方のモデルを示し、算数用語を使って、自分の言葉で説明できるような場を授業に取り入れる。

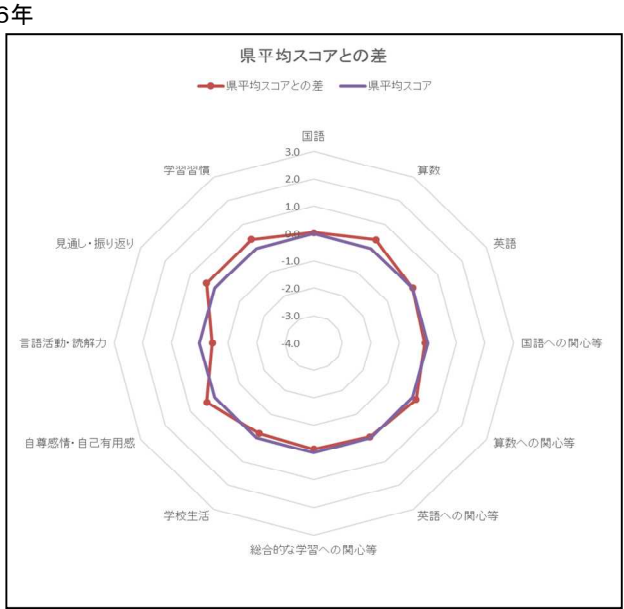
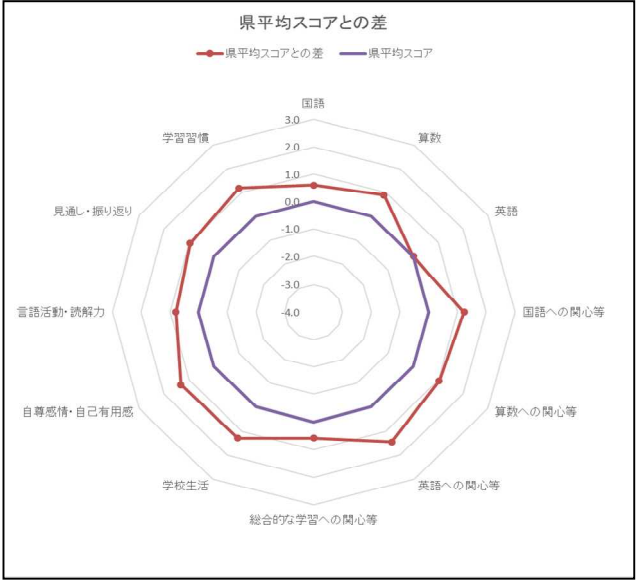
(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
5年	授業改善に関わる事項	○「授業で自分の考えを発表する機会がある」「授業で話し合う活動をよく行っている」と答えた児童がほぼ全員である。 ●授業でグループで調べ学習をしていると思う児童の割合がやや低い。	・今後も、ペア対話やグループ対話などの対話型授業形態を積極的に取り入れ、問題解決学習を工夫する。
	家庭学習に関わる事項	○家で学校の授業の復習や予習をしていると答えた児童の割合が県平均に比べて高い。 ●家庭学習の時間や家庭での読書の時間は、ほぼ県平均で本校が期待しているものより低かった。	・算数における活用チャレンジプリントを利用したり、個に応じた自主学習メニューのアドバイスをしたりし、効果的な家庭学習の指導を行う。
6年	授業改善に関わる事項	○自分の考えを発表する機会があると答えた児童が多い。 ●「授業でグループで調べ学習をよくしている」「授業で話し合う活動をよく行っている」と答えた児童の割合がやや低い。	・今後も、ペア対話やグループ対話などの対話型授業形態を積極的に取り入れ、問題解決学習を工夫する。
	家庭学習に関わる事項	○家庭学習時間平日1時間以上取り組む児童が県平均に比べて高い。 ●「家でだれに言われなくても自分から勉強している」と答えた児童の割合が低い。	・意欲的に家庭学習に臨めるよう自主学習のメニューを工夫したり、家庭での時間の使い方について改めて指導する。

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果



(2) 各学年・各教科の調査結果チャート



(参考) 平均正答率

		国語	算数
5年生	本校	70	79
	松江市	61	60
	島根県	60	58

受検者数
5年生 41 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。
スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(参考) 平均正答率

		国語	算数
6年生	本校	52	66
	松江市	52	60
	島根県	51	59

受検者数
6年生 38 人